

「ACP研究会第3回年次大会」プログラム

10:00 ~ 10:10	開会あいさつ
10:10 ~ 11:00	<p>【シンポジウム】</p> <p>「Advance Care Planning からアドバンス・ケア・プランニングへ」 日本版 ACP のあるべき姿と実現への課題</p> <p>座長：国立長寿医療研究センター地域医療連携室長 西川満則 西岡病院 副院長 五十嵐知文</p> <p>＜シンポジスト＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「急性期から始まる ACP」 春日井市民病院がん相談支援部長 會津恵司 ・「世間話で探る“生き方と逝きかた”」 公立富岡総合病院院長 佐藤尚文 ・「私たち ACP 研究会が日本語版アドバンス・ケア・プランニングの手順「あらかじめ気がかりをはなしあうこと」を策定することを提案します！」 医療法人財団老蘇会静明館診療所 大友宣 ・「ご本人の意向が尊重された医療・介護の提供および病診連携をめざすふくろうプロジェクトー病院・在宅・行政がともに取り組みいのちと生活を支えるまちづくり」 慶應義塾大学医学部 山岸暁美
11:10 ~ 12:10	<p>【一般演題口頭発表】</p> <p>座長：南魚沼市立ゆきぐに大和病院院長 松島一雄 春日井市民病院がん相談支援センター師長 森本優子</p> <p>①松田 繁勝（二戸広域消防組合） 「介護保険施設におけるリビングウィルの状況調査から考える ACP へのアプローチ」</p> <p>②佐藤 まどか（社会医療法人恵和会西岡病院） 「療養病棟の看護職におけるアドバンス・ケア・プランニングに関する記録調査」</p> <p>③赤地 桂子（埼玉県済生会川口総合病院） 「がん治療を受けている患者が、最期の場の意思を示す時期の検討と課題」</p> <p>④西川 満則（国立長寿医療研究センター） 「介護職のためのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）ファシリテーター教育プログラムの実現可能性研究」</p> <p>⑤渡邊 和子（常滑市民病院訪問看護ステーションきずな） 「ACP の効果について～訪問看護ステーションで同時期に関わった2症例より」</p> <p>⑥菊池 麻衣子（一般財団法人 岩手済生医会 中津川病院） 「ケアでキュアでくらしの ACP」</p>

いわて県民情報交流センター 「アイーナ」
7F 小田島組☆ほるる

12:15 ~ 13:15	<p>【ランチョンセミナー】</p> <p>「ACP の普及に向けて ー医療者が心に留めるべきことは何か?ー」</p> <p>岩手医科大学 緩和医療学科 木村祐輔 教授</p>	
13:15 ~ 14:00	<p>【特別講演】</p> <p>「直近の治療選択から ACP まで ～意思決定支援としての医療ケア・プランニング～」</p> <p>岩手保健医療大学学長 清水哲郎</p> <p>座長：国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 三浦久幸</p>	
14:00 ~ 15:00	<p>【パネルディスカッション】</p> <p>「どう活用する 事前指示書」</p> <p>座長：亀田総合病院疼痛・緩和ケア科医長 蔵本浩一 公立富岡総合病院緩和ケア認定看護師 津金沢理恵子</p> <p><パネリスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」を目的としない宮崎市「わたしの想いをつなぐノート」 ー看取りの「紙づくり」でなく「町づくり」の現状と課題ー 宮崎大学医学部 板井孝吉郎 ・リビングウィルと ACP 日本尊厳死協会副理事 長尾和宏 ・「群馬県吾妻地域におけるアドバンスケアプランニングへの取り組み（仮）」 NPO あがつま医療アカデミー 狩野道子 	
15:15 ~ 16:40	<p>【市民公開講座】</p> <p>「おらおらでしとりえぐも：わたしの逝き方はわたしが決める」</p> <p>社会学者 上野千鶴子 氏</p> <p>座長：岩手県立二戸病院副院長 高橋浩</p>	

<全体司会>

西岡病院医療福祉科長 岡村紀宏